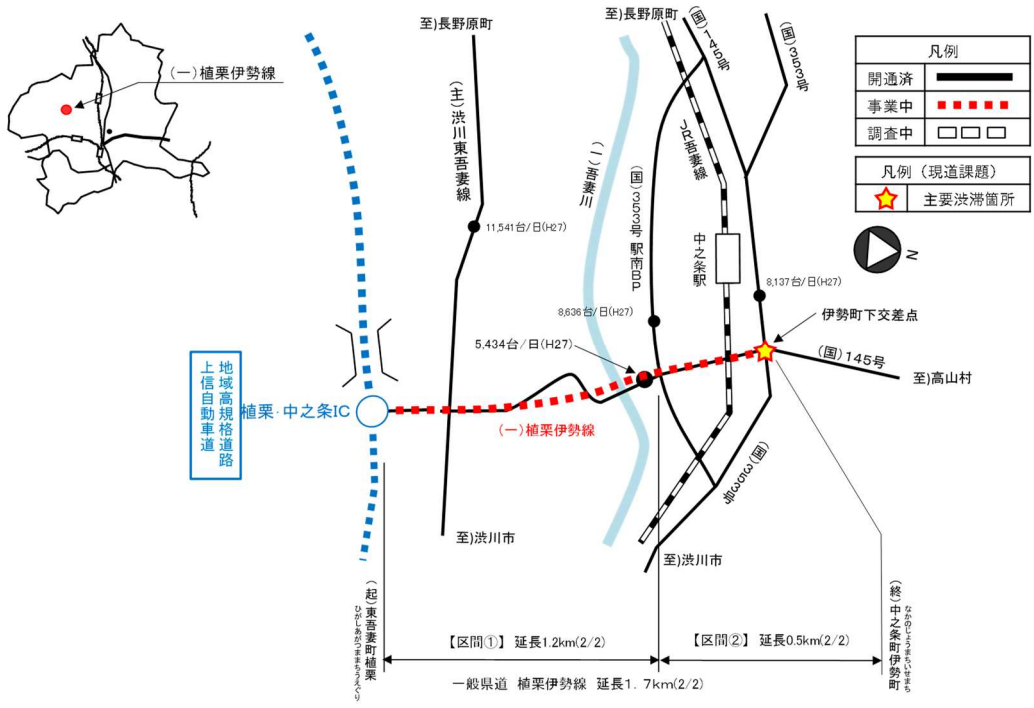


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名：地高 IC アクセス 一般県道 植栗伊勢線 上信自動車道アクセス	事業区分：地方道	事業主体：群馬県			
起終点：自：群馬県吾妻郡東吾妻町植栗 至：群馬県吾妻郡中之条町伊勢町		延長：1.7km			
事業概要 一般県道植栗伊勢線は地域高規格道路である上信自動車道の植栗・中之条インターチェンジから、主要地方道渋川東吾妻線（東吾妻町植栗地内）、吾妻川、国道 353 号、及び J R 吾妻線を横断し、国道 145 号に至る延長約 1.7km の 2 車線道路である。 上信自動車道の整備に際して、中之条町、四万 温泉、高山村方面への重要なアクセス道路となる。					
H25年度事業化	S34年度都市計画決定 (R4年度変更)	H29年度用地着手	R1年度工事着手		
全体事業費	約64億円	事業進捗率	約67%	供用済延長	0km
計画交通量	7,100~8,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/61億円 事業費：28/59億円 維持管理費：1.6/1.6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 96/96億円 走行時間短縮便益：81/81億円 走行経費減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：1.6/1.6億円	基準年 令和5年
	(残事業)	3.3			
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.4~1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.9~3.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.4~1.8 (事業費±10%) 事業費：B/C=3.0~3.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.7 (事業期間±10%) 事業期間：B/C=3.2~3.3 (事業期間±10%)					
事業の効果等 ・車道の拡幅及びバイパス整備による急勾配・急カーブ区間の解消により、安全かつ円滑な通行が確保され、災害時においても中之条市街地と上信自動車道が結ばれ、広域的な救援活動や経済活動の継続性が確保される。 ・第一次防災拠点である吾妻広域消防本部と吾妻行政県税事務所が結ばれることにより円滑な救援活動の維持が可能となる。 ・本路線を上信自動車道と一体となって整備することにより県央地域へのアクセス性が向上し、渋川伊香保 IC から四万温泉へのアクセス時間が短縮され四万温泉への観光客の増加により観光振興に貢献する。					
関係する地方公共団体等の意見 ・渋川市をはじめとする 3 市 4 町 2 村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、当路線が接続する地域高規格道路「上信自動車道」と合わせて、整備促進の要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見 ・事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 ・令和 2 年 6 月 7 日に上信自動車道の一部区間である金井バイパス(L=1.0 km)、川島バイパス(L=2.2 km)、祖母島～箱島バイパス(L=4.0km)が全線供用した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約93%、事業進捗率約67%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・本事業は地元調整や、大型物件の補償調査、電線共同溝工事の追加検討のために時間を要している。					
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 ・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。